



アドミッションポリシー



先週、公立高校の特別選抜試験の発表がありました。私学を含め結果もすでにて、一安心している人も多いかと思います。これで進路が決定した人もたくさんいます。決まった人たちは卒業までの日々をどう過ごしますか？もうやるべきことは終わったと気持ちを緩めてはいけません。高校進学はあくまでも通過点で決してゴールではありません。まだまだ**次のステージに向けて力を蓄えるとき**です。この後も公立高校の一般選抜に臨む仲間もいます。そんな仲間のためにも今まで通り、**やるべきことをやる毎日**を過ごして欲しいと思います。

1、2年生にも知っておいてほしいのですが公立高校の受験に臨む人たちは願書と共に自己申告書というものを書きます。これは高校が**アドミッションポリシー**（求める生徒像）といって是非入学して欲しい生徒像の内容を示したものに沿って自分をアピールする作文のことです。今年のテーマも「あなたは中学校等の生活（あるいはこれまでの人生）でどんな経験をし、何を学んだか。またそれを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。」というものです。受検する人の自己申告書を点検する中で、部活動での経験や学校行事（体育大会や合唱コンクール）、委員会活動、ボランティア活動などを書いている人が多かったと思います。実際に自分が起こした行動、経験だからこそ自信をもって文章にできるのだと校長先生は思います。どんな小さなことでも自分で考え、行動し、その結果を受け止めてまた次に生かしていける、そんな誰からも求められる人にみんなが成長できることを心から願っています。そんな経験を1、2年生はこれから積んでいきましょう。



早いもので今日から3月が始まりました。学年として最後の月、3年生にとってはいよいよ卒業の時を迎えます。どんな気持ちでみんなはこの3月を迎えていますか？日本では、旧暦3月を弥生（やよい）と呼び、現在でも新暦3月の別名としても用いています。



弥生の由来は、草木がいよいよ生い茂る月「木草弥や生ひ月（きくさいやおひづき）」が詰まって「やよひ」となったという説が有力で、これに対する異論は特にありません。

さあ！3月。締めくくりというよりも**いよいよ草木が生い茂る勢いのまま、新しい年度に向けてスタートをしていきましょう。**